

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月23日更新

事務事業名		総合健康センター施設維持管理事業					☐ マニフェスト 関連		☐ 全庁横断 課題関連		☒ 集中改革 プラン関連			
総合 計画 体系	政 策	1 自治の健康					所属部	産業振興部		課長名	牧野 淳一			
	施 策	2 行政改革の推進					所属課	商工振興課		担当者名	大塚 裕貴			
	施策の柱	12 公有財産の管理運営					所属班	商工振興班		(内線)	5215			
予算科目		会計 一般	款 7	項 1	目 2	事業連番 11284	根拠 法令	合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」 条例 指定管理者協定書						
終了、開始年度		☐ 2年度で終了 ☐ 2年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)						

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】		平成13年7月、西合志町総合ふれあい健康センター「ユーパレス弁天」が開館。(管理運営業務を㈱にしごうしに委託) 地方自治法改正に伴い、管理委託制度から指定管理者制度に移行し、第1回目の指定管理者協定を㈱にしごうしと平成18年8月～平成21年9月の期間で締結した。 ○合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」の管理運営業務についての助言及び経営状況確認 ○指定管理者協定に基づく、合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」の施設維持管理事業 ○現指定管理期間は、平成21年10月～平成24年3月であり、平成23年度に指定管理者更新を行い、引き続き㈱にしごうしを平成24年4月から平成26年3月までの2年間、指定管理者として指定した。 ○平成23年度に「大規模改修検討委員会」を開催し、開館後10年経過し老朽化が著しい施設の大規模改修の内容を検討した。 ○平成25年度に「大規模改修検討委員会」の答申に基づき、改修設計委託業務を行った。 ○平成25年度に大規模改修工事を行った。また、指定管理者選定を行い平成30年度までの新たな管理者を選定した。 ○平成26年度から、新たな指定管理者による運営が行われた。(平成30年度まで) ○平成31年春に北熊本スマートインターチェンジの開通見込みであったことから、設備と特定天井の大規模改修を1年先に延ばし、平成31(令和元)年度は昨年度までの指定管理者に運営させることになった(12月議会上程) ○令和元年度は、令和2～5年度(4年間)の公募により指定管理者選定を行った。 ○令和2年度は、特定天井の耐震化工事及び温泉熱設備導入工事を行う。
【業務の流れ】		○特定天井改修等の入れ及び契約事務補助 ⇒ 工事に伴う休館等の調整・利用者への周知 ○施設の修繕等については、管理協定書に基づき30万円(令和2年度の指定管理者更新以降は50万円)以上の修繕費について、指定管理者より協議書が提出される。それに基づき、審査を行い公益上必要と認められるものについて、修繕費の負担を行なう。 ○大規模な施設の修繕については、年次計画により市が直接工事を行なっている。
【主な予算費目】		○委託料、工事請負費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】		空冷チラー(サウナ等の水風呂の冷却に使用)等が老朽化のため故障しており、更新、修理を求める意見がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)		3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
毎月の指定管理者運営会議へ出席した。指定管理協定に基づき指定管理料の支払いを行った。施設設備の修繕、工事を行った。 (委託料) 特定天井改修工事施工監理、温泉熱交換器導入工事施工監理、動力装置委更許可申請業務 (工事費) 特定天井改修工事、温泉熱交換器導入工事、温泉井戸水位測定管理設置工事 (負担金) 総合健康センター施設修繕負担金、温泉協会負担金 新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年2月から3月の施設の一部休止に伴う損失補償を行った。 休業要請に応じた休館及び新型コロナウイルス感染防止策に対する協力金を支出した。 井水ポンプ(温泉利用)の故障等によって故障したため全部休館となったことによる損失補償を行った。		指定管理委託業者との密接な連携を取り、新型コロナウイルス感染症拡大の状況に留意しながら施設の適正な運営を行う。 保全計画に基づき必要箇所の修繕工事を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 修理箇所		前年度の特定天井耐震化及び温泉熱設備導入工事が完了したこと
イ: 修理等金額		による工事請負費の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」施設利用者		(単位) 千人
→ ア: 来館者		
イ:		
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
利便性・安全性を確保する		(単位) %
→ ア: 修理済箇所数/要修理箇所数		
イ: 苦情・要望の対応件数/苦情・要望の総数		
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0
利便性・安全性の確保につながる施設修理済箇所の割合及びお客からの苦情・要望対応件数割合とした。 施設大規模改修工事が終了すれば、施設の要修繕箇所はなくなる。また、お客の苦情や要望等で施設の老朽化に伴うものに対応できるため、平成25年度からは、施設修理済み箇所割合は100%、苦情・要望の対応件数割合は80%と設定した。		

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	30年度 実績(決算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	4年度 予定	5年度 見込	6年度 見込	
① 活動指標	ア 件		7	6	4	7	4	4	4	4	
	イ 千円		31,893	6,291	258,747	213,008	36,000	36,000	36,000	36,000	
② 対象指標	ア 千人		448	430	530	188	530	530	530	530	
	イ										
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ %		100	100	80	100	80	80	80	80	
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	10,289	5,083	118,936	51,543				
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円	23,600	4,700	78,400	76,700				
		その他	千円			2,077	39,722	2,077	2,077	2,077	
		繰入金	千円			60,000	50,000				
		一般財源	千円	28,107	41,165	17,224	35,701	21,730	22,000	22,000	50,000
	(A) 事業費計	千円	61,996	50,948	276,637	253,666	23,807	24,077	24,077	52,077	
		(A)のうち指定経費	千円	35	35	35	30	35	1,535	1,535	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3	0
		延べ業務時間	時間	1,600	1,634	600	800	600	0	0	0
		(B)人件費計	千円	6,307	6,475	2,390	3,154	2,390	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	68,303	57,423	279,027	256,820	26,197	24,077	24,077	52,077	

事務事業名	総合健康センター施設維持管理事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 2年度の後評価、ただし複数年度事業は 2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	☒ 達成した 適切に改修工事を実施し、対応したため。 ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	② 3年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 施設の老朽化が進んでいるが、点検を徹底し、改修の必要性がある部分を洗い出し、計画的に改修を実施することで、適切な維持管理を行なうことができる。 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 施設の老朽化に伴い、今後施設の維持管理上の修繕要望は予想されるため向上の余地はある。 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 施設運営については専門的な管理技術が必要であり、その手法として、指定管理者へ委託を行ったため他の方法はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 当該施設における多くの機械設備が更新時期を迎えている中、省エネルギー化を図る等、経常費の削減に取り組む余地はある。施設の運営管理についても指定管理者制度の他、民間資金の活用など収益性の改善など検討を行う。 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 指定管理者と打合せながら業務を進めるため、必要最低限の人員であり、削減余地はない。 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 利用者は、サービスの対価として利用料金を支払うため公平公正である。 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 市の施設であるため、その施設の維持管理は当然行政が行なわねばならない。 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

指定管理者と連携を取りながら、改修箇所の確認と改修工事を行い、適切な施設管理を行なうことができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 総合健康センター施設維持管理であるため、施設の修繕工事が必要となった場合に適正に対応する必要がある。				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上			○																								
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 建築年数が20年を経過し、今後改修が必要な箇所も増えてくるため、財源の確保が課題であり、出来るだけ補助金等を活用した財源確保に努める。																												